

# 公益社団法人日本金属学会 2024年度事業計画

(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

2024年度の事業の概要は、次のとおりである。(詳細は本会ホームページ/情報公開を参照のこと。)

- ①2024年度は公益社団法人としての12年目の事業年度であり、引き続きセルフガバナンスに基づいて、公益目的事業を公正かつ適切に推進する。
- ②刊行事業については、機関誌3誌の刊行を推進する。会報「まてりあ」においては、金属をはじめとする材料に関して学術的・技術的知見を幅広く得たいときに手軽に読め、かつ研究開発活動の一助となる情報誌であることを目指し、入門講座や講義ノートに加え、実学講座等の記事カテゴリーの一層の充実を図る。また、誌面や記事構成の改定等を推進する。日本金属学会誌は、日本語で書かれた最新知見の発信や高度な専門性のある提案・意見交流・学理追求の場として維持向上を図るために、積極的な投稿勧誘、Materials Transactionsに掲載されたReviewやOverview、特集論文の和訳掲載等を推進する。Materials Transactionsは、日本の代表的な材料系英文論文誌でありつづけるよう、より一層高度化するとともに、インパクトファクターの更なる向上を目指し、特集やReview, Overview, Current Trends in Researchの掲載や査読の厳格化等によって掲載論文の質を向上させる。さらに、質の高い論文が掲載されていることの周知や被引用数の多い論文の著者への認定等の掲載論文引用の促進、掲載論文引用の積極的な要請等の施策を推進する。また、共同刊行における編集の一体化を推進する。
- ③講演会・講習会事業については、with/post コロナ時代に即した事業の形態を検討し、適切かつ効果的なオンライン利用の方策を検討する。最新の研究や技術を発信し、大学・企業・研究所を越えた多様かつ多くの研究者や技術者が集い交流する魅力ある講演大会を目指して、講演大会のプログラムや日程を検討するとともに、魅力ある公募ならびに企画シンポジウムの開催や他学協会との連携企画の拡充等の施策を推進する。基礎から最新の研究や技術までを学べるセミナーやシンポジウムの開催や次世代を担う人材の教育と育成に貢献する教育講座を開催するとともに、高校生・高専生が材料の魅力を理解するための機会を作る。また、会員の活発な交流や材料分野での人材育成をより一層推進する。
- ④調査・研究事業については、国際舞台における我が国の材料科学を先導していくことを目指し、再編した分科の特長を活かす協力体制による活動を推進する。また、研究会、若手研究グループに加えて、分野を超えた取り組みを強化すべき研究課題に対して産・学・官が連携して課題解決に取り組むことを目的とした産学協創研究会の活動を推進するとともに、新たに材料共通の基盤技術・基礎学理の発展を目的とした研究会を創設する。さらに、若手研究者を対象とした研究助成事業の拡充を図る。金属及び関連材料に興味を持つ若い世代を育てることを目指し、学校教育の支援や青少年向けイベントの開催、若手交流等の人材育成に関する事業を拡充する。国際学術交流は、KIM, TMS, IIM等との交流および秋期講演大会における国際シンポジウムの開催を推進する。男女ともに学会で活躍できる環境作りのために男女共同参画事業を行う。
- ⑤表彰・奨励事業については、若手や民間企業の研究者・技術者を含め多様な層への授賞を推進する。
- ⑥学会の活動を広く周知するために、アウトリーチ等の広報活動を推進する。
- ⑦庶務については、引き続き法令等および本会の定めにより、公正かつ適切に行う。
- ⑧会計については、引き続き最新の公益法人会計基準および公益認定等ガイドライン等に則り、公正かつ適切に行う。

## 公益社団法人 日本金属学会 2024年度収支予算書

2024年3月1日から2025年2月28日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	23,675,234	21,577,114	2,098,120	
特定資産受取利息	23,675,234	21,577,114	2,098,120	
退職給付引当資産	693,369	693,369	0	
減価償却引当資産	87	87	0	
刊行事業資金	6,391,000	6,391,000	0	
刊行事業拡充賛助寄付資金	1,286	1,286	0	
講演会・講習会事業資金	5,991,625	5,991,625	0	
調査・研究事業資金	4,690,464	5,290,464	-600,000	国債再投資・利率減
調査・研究事業拡充資金	6,000	6,000	0	
国際学術交流資金	1,428,000	40,800	1,387,200	国債再投資
国際会議準備資金	550	550	0	
表彰・奨励事業資金	1,050,000	1,050,000	0	
学会賞資金	231,003	210,018	20,985	
研究技術功労賞資金	98,000	70	97,930	
奨励賞・奨学賞等資金	693,450	945	692,505	国債再投資
谷川・ハリス賞資金	210,000	150	209,850	

科 目	当 年 度	前年度予算額	増 減	備 考
増量賞資金	490,000	350	489,650	
村上賞資金	1,700,400	1,900,400	-200,000	
<b>受取入金</b>	<b>100,000</b>	<b>100,000</b>	<b>0</b>	
受取入金	100,000	100,000	0	
<b>受取会費</b>	<b>61,860,000</b>	<b>61,910,000</b>	<b>-50,000</b>	
正員受取会費	30,500,000	31,500,000	-1,000,000	会員減
学生員受取会費	3,200,000	3,200,000	0	
維持員受取会費	27,000,000	26,000,000	1,000,000	口数増
外国会員受取会費	1,160,000	1,210,000	-50,000	
<b>事業収益</b>	<b>85,873,050</b>	<b>85,376,603</b>	<b>496,448</b>	
<b>刊行事業収益</b>	<b>45,392,050</b>	<b>45,994,603</b>	<b>-602,552</b>	
会報購読費収益	1,863,110	1,924,885	-61,775	
会誌購読費収益	3,350,400	3,735,633	-385,233	
欧文誌購読費収益	10,483,204	9,689,373	793,831	購読単価増
会報別刷等収益	3,231,250	3,263,400	-32,150	
会誌別刷・審査収益	390,000	390,000	0	
欧文誌別刷・審査収益	20,040,000	20,040,000	0	
刊行事業広告収益	4,518,000	4,860,000	-342,000	
単行本収益	516,086	1,091,312	-575,225	図書類の電子化による販売数減少
著作権料収益	1,000,000	1,000,000	0	
<b>講演会・講習会事業収益</b>	<b>40,145,000</b>	<b>38,710,000</b>	<b>1,435,000</b>	
講演大会参加費収益	26,000,000	25,950,000	50,000	
講演大会懇親会参加費収益	1,490,000	1,050,000	440,000	
金属学会シンポジウム参加費収益	600,000	600,000	0	
金属学会シンポジウム予稿集収益	10,000	10,000	0	
セミナー参加費収益	5,590,000	5,590,000	0	
セミナーテキスト収益	30,000	30,000	0	
講演会・講習会事業広告収益	4,265,000	3,320,000	945,000	昨年度広告数想定
支部講演会・講習会事業収益	1,600,000	1,600,000	0	
講演会・講習会事業委託収益	560,000	560,000	0	
<b>調査・研究事業収益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
調査・研究事業収益	0	0	0	
<b>表彰・奨励事業収益</b>	<b>336,000</b>	<b>672,000</b>	<b>-336,000</b>	
審査・投稿料収益	336,000	672,000	-336,000	
<b>受取補助金等</b>	<b>0</b>	<b>1,000,000</b>	<b>-1,000,000</b>	
受取国庫助成金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	1,000,000	-1,000,000	秋期講演大会助成金額減
<b>受取負担金</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
受取負担金	0	0	0	
<b>受取寄付金</b>	<b>25,000,000</b>	<b>20,000,000</b>	<b>5,000,000</b>	
受取寄付金	25,000,000	20,000,000	5,000,000	刊行事業拡充賛助寄付資金から振替
<b>雑収益</b>	<b>21,100</b>	<b>21,100</b>	<b>0</b>	
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収益	20,000	20,000	0	
支部受取利息・雑収益	100	100	0	
<b>経常収益計</b>	<b>196,529,384</b>	<b>189,984,817</b>	<b>6,544,568</b>	
(2)経常費用				
<b>事業費</b>	<b>180,602,373</b>	<b>175,246,906</b>	<b>5,355,467</b>	
<b>刊行事業費</b>	<b>78,901,349</b>	<b>78,202,897</b>	<b>698,452</b>	
給料手当	26,313,040	26,339,000	-25,960	
退職給付費用	1,771,491	1,686,500	84,991	
福利厚生費	4,372,897	4,161,461	211,436	
会報刊行費	33,465,765	33,191,646	274,119	
会誌刊行費	1,963,242	2,300,037	-336,795	
欧文誌刊行費	9,640,914	9,150,253	490,661	
学術図書類刊行費	1,374,000	1,374,000	0	
<b>講演会・講習会事業費</b>	<b>55,806,052</b>	<b>58,114,401</b>	<b>-2,308,349</b>	
給料手当	15,787,824	15,803,400	-15,576	
退職給付費用	1,062,895	1,011,900	50,995	
福利厚生費	2,623,738	2,496,877	126,861	
講演大会開催費	28,107,620	26,603,449	1,504,171	システム管理費，印刷製本代増
講演大会懇親会費	1,000,000	1,040,000	-40,000	
本多記念講演開催費	92,500	132,300	-39,800	
金属学会シンポジウム開催費	672,385	722,385	-50,000	
セミナー開催費	1,155,090	1,835,090	-680,000	開催数減
国際会議開催費	0	3,500,000	-3,500,000	国際会議開催費助成なし
支部講演会・講習会開催費	5,304,000	4,969,000	335,000	

科 目	当 年 度	前年度予算額	増 減	備 考
<b>調査・研究事業費</b>	<b>37,208,351</b>	<b>30,845,299</b>	<b>6,363,052</b>	
給料手当	2,631,304	2,633,900	-2,596	
退職給付費用	177,149	168,650	8,499	
福利厚生費	437,290	416,146	21,144	
関連団体連携事業費	21,500	21,500	0	
日本工学会費	172,540	347,540	-175,000	
材料戦略委員会費	10,000	10,000	0	
科研費委員会費	1,000	1,000	0	
人材育成委員会費	140,000	140,000	0	
男女共同参画委員会費	170,000	100,000	70,000	
調査研究委員会費	2,020,568	1,979,563	41,005	
研究会費	4,500,000	4,500,000	0	
研究助成費	22,500,000	15,000,000	7,500,000	助成数 5 件増
企画委員会費	2,000	2,000	0	
セルフガバナンス委員会費	10,000	10,000	0	
国際学術交流委員会費	2,561,000	3,661,000	-1,100,000	Young Leader 派遣数減 3 名→1 名
支部調査・研究事業費	1,854,000	1,854,000	0	
<b>表彰・奨励事業費</b>	<b>8,686,621</b>	<b>8,084,309</b>	<b>602,312</b>	
給料手当	2,631,304	2,633,900	-2,596	
退職給付費用	177,149	168,650	8,499	
福利厚生費	437,290	416,146	21,144	
名誉員費	147,600	157,700	-10,100	
各種賞検討委員会費	720,568	679,563	41,005	
学会賞費	799,060	587,850	211,210	
技術賞費	100,600	93,550	7,050	
技術開発賞費	214,600	326,100	-111,500	
金属組織写真賞費	110,700	72,200	38,500	
研究技術功労賞費	636,700	721,900	-85,200	
功績賞費	342,100	153,250	188,850	
奨励賞・奨学賞等費	428,200	330,900	97,300	
谷川・ハリス賞費	57,300	63,700	-6,400	
増本量賞費	212,300	204,350	7,950	
まてりあ賞	28,800	5,100	23,700	
村上賞費	1,195,500	1,155,750	39,750	
論文賞費	221,500	96,350	125,150	
フェロー費	12,350	4,350	8,000	
支部表彰・奨励事業費	213,000	213,000	0	
<b>管理費</b>	<b>20,146,622</b>	<b>18,378,718</b>	<b>1,767,904</b>	
給料手当	5,262,608	5,267,800	-5,192	
退職給付費用	354,298	337,300	16,998	
福利厚生費	874,579	832,292	42,287	
会議費	870,000	700,000	170,000	
旅費交通費	2,500,000	1,000,000	1,500,000	対面出席者増
通信運搬費	1,300,000	800,000	500,000	通信・運搬料金値上げ
減価償却費	267,237	189,900	77,337	
消耗什器備品費	45,000	45,000	0	
消耗品費	2,350,000	2,350,000	0	
修繕費	10,000	10,000	0	
印刷製本費	500,000	500,000	0	
光熱水料費	40,000	35,726	4,274	
賃借料	528,000	528,000	0	
保険料	12,000	12,100	-100	
諸謝金	20,000	20,000	0	
租税公課	2,732,000	3,200,000	-468,000	
送金手数料	133,000	132,500	500	
支払負担金	12,000	50,000	-38,000	
システム管理費	285,900	285,900	0	
委託費	1,600,000	1,582,200	17,800	
雑費	450,000	500,000	-50,000	
<b>経常費用計</b>	<b>200,748,995</b>	<b>193,625,624</b>	<b>7,123,371</b>	
評価損益等調整前経常増減額	-4,219,611	-3,640,808	-578,803	
評価損益等	0	0	0	
<b>当期経常増減額</b>	<b>-4,219,611</b>	<b>-3,640,808</b>	<b>-578,803</b>	

科 目	当 年 度	前年度予算額	増 減	備 考
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
固定資産除却損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-4,219,611	-3,640,808	-578,803	
一般正味財産期首残高	1,092,961,439	1,094,624,747	-1,663,308	
一般正味財産期末残高	1,088,741,828	1,090,983,939	-2,242,111	
II. 指定正味財産増減の部				
特定資産受取利息	1,700,400	1,900,400	-200,000	
未経過償還差額金の償却額	10,194	30,380	-20,186	
刊行事業拡充賛助寄付金	50,000	50,000	0	
一般正味財産への振替額	26,760,594	21,980,780	4,779,814	25,000,000円を受取寄付金へ振替
当期指定正味財産増減額	-25,000,000	-20,000,000	-5,000,000	
指定正味財産期首残高	422,194,880	437,054,306	-14,859,426	
指定正味財産期末残高	397,194,880	417,054,306	-19,859,426	
III. 正味財産期末残高	1,485,936,708	1,508,038,245	-22,101,537	

- (注) 1. 小科目の対前年度予算額比50万円超の増減の理由および補足説明を備考欄に記載した。  
2. 人件費の配賦率は、刊行事業50%、講演会・講習会事業30%、調査・研究事業5%、表彰・奨励事業5%、法人会計10%としている。

◇ ◇ ◇